

今後の事業計画

一、カラオケ「紫紺の会」

毎月、楽しく開催♪

寺島 忠昭(S 41 経営)

のど自慢の方も苦手な方も、お茶、ビールで喉を湿らせて「カラオケ」を楽しむことのできる、親睦・交流の場です。多くの方のご参加をお待ちしております。

・日時：原則 毎月最終週土曜日
(次回は3月7日)

午後3時30分～6時15分

・場所：ひじり館2F和室

・会費：500円

・参加申込：寺島 忠昭まで

(携帯)

(メールアドレス)

なお、会場予約の状況により、日時が変更になった場合は、メール等でご連絡いたします。

二、登戸資料館見学会

名称：「明治大学平和教育

登戸研究所資料館」見学会

日時：平成27年2月20日(金)

集合：小田急線生田駅南口改札前

午後1時

三、第6回ディスクゴルフ大会

日時：平成27年3月28日(土)

場所：昭和記念公園

多摩支部より実施要領連絡次第参加者へ連絡します。

一、二の参加申込：矢場 岩男まで

(携帯)

(メールアドレス)

上期活動報告

一、多摩支部総会に出席して

今村 隆正(S 59 文)

多摩市地域支部が所属する多摩支部の第12回定時総会が、6月27日に行われた。支部総会への参加は昨年度に続き2回目であった。ここで、つまらぬお世辞を並べても何の発展にも寄与しないと思うので、良かった点、悪かった点をはっきりと箇条書きにして残したいと思う。

〈良かった点〉

・明治は一つ、という仲間意識が強く、参加するだけで元気がもらえる。
・廊下で会う人、トイレで会う人、初対面の人ばかりでも、明大OBと

して会話が弾む。
・先輩が皆、親切で優しい。良き先輩に、同窓生としての誇りを実感する。

〈悪かった点〉

・参加者の年齢層が高すぎる。もつと若い層を沢山呼び込む必要がある。
・そもそも、支部活動を知らないOBが多いため、今後の広報活動は必須である。

・今回の出演は、騒がしいばかりで最悪であった(前年は、応援団でも良かった)。



良い点も悪い点も、挙げると切がないので、今回はこの辺にしておこうと思う。何はともあれ、いつになっても肩を組んで校歌を歌えるのは最高である。

明治大学に栄光あれ。

二、サントリー武蔵野工場見学会

見学会

鶴田 勇雄(S 37 法)

平成26年7月18日(金) 校友OB 12名で府中市矢崎町にあるサントリー武蔵野工場を見学しました。

朝10時分倍河原駅前に集合し、お迎えの車で工場へ。案内嬢による工場紹介とビールの製麦から缶詰までの生産工程に沿って約30分案内していただきました。特に感心したのは、地下の天然水を大切に使いきれいにし、て戻す等、衛生、環境と調和した工場づくりでした。工場見学後、おつまみ付出来立て特別ビールの試飲。



思わずみなさん笑顔がこぼれお話が弾みました。30分後記念写真を撮り工場を後にしました。二次会を聖蹟桜ヶ丘駅前の「うらら」で牡蠣のコース料理を味わいながら楽しんで、解散となりました。

三、明早戦ラグビー観戦

秋山隆敬(S43法)

国立競技場の改修により、関東大学ラグビー対抗戦の伝統の一戦、90回目の「明早戦」が、さる12月7日、秩父宮ラグビー場へと試合会場を移して行われました。
我が校友会多摩市地域支部から



も昨年の参加者より多い、18名が参加しました。

天候もよく、スタンドを埋めた2万人以上の観客の中で、久しぶりに学生時代の昔に戻り母校の応援に酔いしれました。

試合は、幸先良く梶村祐介選手のトライで先制したが、明治の十八番であるはずのFW戦で優位に立てず、

おまけに日本代表FB藤田選手を擁する早稲田のBKを止めることができず、後半1トライ1ゴール差まで追い上げたが終了間際にダメ押し2トライを決められ、24対37でノースサイド。終了後は渋谷の居酒屋で残念会。ラグビーを肴に会員の懇親を図りました。

会員活動便り

一、私の地域活動

寺島 忠昭(S41経営)

昨年4〜9月まで永山公民館にて6回シリーズ・「写真でつづる自分史講座」の講師を務めました。健やかな老後の為に自分の半生を見つめ直し、これからの生き方を考える機会になります。昔の写真をパソコンとプリンターでスキャン。褪色補正・修整された写真が昔の記憶を鮮明に思い出させる。写真の情報は膨大。ワードで年代順に写真を10〜20枚貼り付け、当時の思い出・想い・人生観等を15行〜20行記す、これで完成。

校友会からは鈴木達夫さん、菊池武信さん、矢場岩男さんがご参加くださいました。受講生25名。
今回は、今年5〜9月にかけて

多摩市総合福祉センターで

開催予定。また、

昨年11

〜12月

にかけて

5回シリーズ・

「古典芸能で知る江戸時代の文化」

を企画・運営しました。



「公民館・市民企画講座」に、企画部会の伊東勝義さんと一緒に企画・応募。ヒヤリングを経て開催。受講生28名。講師は、森章二氏(新国劇俳優・江戸文化研究家)のご紹介で神田紫氏(講談師・日本講談協会々々長)、滝川鯉橋氏(落語家)のお三方にお願いしました。

森章二さんとのご縁は、昨年2月〜3月に永山公民館・「芝居で知る江戸の文化・風俗」5回シリーズ。戦後、すっかりアメリカナイズされた日本。しかし、265年続いた江戸時代風俗・気風はわずかながら残っている。この良き日本精神文化・伝

統を次世代に伝え残していく責務があると思う。森先生によれば、明治・大正時代、戦前までは江戸文化が残っていたそうです。この企画は、来年も引き続き開催予定。

二、趣味

水彩画を描く シリーズ①

中山雅雄(S37法)

趣味でNHK文化センター八王子教室「楽しく描く水彩画」教室に入り8年続いております。

クロッキー、静物、風景それに戸外スケッチと月2回の頻度で作品を描いており、年間5回の展示会に出品し水彩画を楽しんでおります。



<T嬢>

ジーパンのよく似合う女性でした

三、紀行 くアブダビへの旅く

高山 千佳歳(S 59 政経)

1年ほど前になりますが、仕事の関係で中東のアブダビ首長国に4回ほど続けて訪れる機会がありました。アブダビはアラビア半島のアラビア湾岸に位置し、7つの首長国で構成されるアラブ首長国連邦の1つです。他の首長国では、近年注目が高まるドバイ首長国が有名ですが、アラブ首長国連邦内では、政治のアブダビ、経済のドバイといわれています。アブダビの面積は約6万7千km²(九州の約2倍)、人口は約150万人。東京から8千キロ、直行便で13時間の旅となります。

アブダビ市内は、近代化が著しく、伝統的なアラブ式の住居が残る一方で近代的な高層ビルが林立し、また多くの最新の欧米車が走る街になっています。

訪れた目的は、アブダビは宗教上の理由から女性がありませんが、仕事にせよ、家の中で革製品、編み物などを細々と作り、親族間で使っていることが多いのですが、アブダビ政府は将来の石油枯渇に備え、今のうちからそのような埋もれた技能を事業化し、国外にも通用するブランドに育てたいとの意向があり、それに協力したものです。



今回は特に革製品の事業化のため、日本の専門家とともに現地を訪れ、20名ほどの現地の女性に対して、革製品作製のノウハウ修得、技能の高度化を目指し、革製品のデザイン、裁断方法、ボタンや飾りのつけ方、縫製方法などについて、最新の研修を行ってきました。

最初は、遠く日本から来た我々を少し怖がっているかのようにでしたが、研修の最終日には楽しく打ち解け、最後には全員から我々への手作りのサプライズプレゼントまでいただきました。本当に素晴らしい研修となりました。

これは私が勤務する会社が2年前から始めたアブダビ支援の一環ですが、編み物についてはすでに製品化され、エティハド航空の機内販売で

PRのケースなどが販売されています。機会があればぜひお買い求めください。

中東、アラブ、イスラームと聞くのと、少し遠い存在に思えますが、ここで暮らす人たちは日本と変わらず、礼儀正しく、義理堅く、また感謝の気持ちを持たない方々でした。忘れられない旅となりました。

会員の動静

(順不同・敬称略)

残念ながら次の5氏が体調不良や一身上の都合により退会されました。
小川五郎(S 40 経営 勝田元紀(S 38 農
山本敦子(S 55 文 松浦卓仁(H 09 経営
川原崎由夫(S 29 商)
なお新規加入者が1名ありました。
会員数93名(平成26年12月現在)
会員相互の動静もお知らせ下さい。

会費納入のお願い

未納の方は、同封の振込用紙にてお支払いをお願いいたします。

編集後記

- ・新会員のご紹介を是非是非!
- ・紫紺発行の「生殺与奪の権」は全会員にあり。乞う! 多数の投稿(や)



②ミサゴ (ボラゲット)
撮影者 矢場 岩男 (S43 商)



①融雪前の尾瀬ヶ原
撮影者 鶴田 勇雄 (S37 法)

会員ギャラリー
自慢の一葉 ④